

浜の活力再生プラン

1 地域水産業再生委員会

組織名	与那国漁協地区地域水産業再生委員会
代表者名	嵩西 茂則

再生委員会の構成員	与那国町漁業協同組合、与那国町、与那国町漁業担い手育成協議会、与那国町漁業協同組合婦人部、久部良自治公民館、与那国町商工会
オブザーバー	沖縄県八重山農林水産振興センター（農林水産整備課）

※再生委員会規約及び推進体制のわかる資料を添付すること。

対象となる地域の範囲及び漁業の種類	対象地域：与那国漁業協同組合管内 曳縄及び一本釣り 合計 28 名（正組合員）
-------------------	--

※ 策定の時点で対象となる漁業者数も記載すること

2 地域の現状

(1) 関連する水産業を取巻く現状等

与那国島は、八重山諸島の西端、台湾の北東約 111km に位置する日本最西端の国境離島である。昨年末の人口は 1,500 人を下回り、年間の入域観光客数は 37,000 人程度であり、水産物の消費・流通に大きなハンディがある。このように厳しい地理的条件に基づく漁業経営環境のため、平成 10 年頃には、40 人程度であった組合員数が平成 27 年度では 28 人と大きく減少している。また、新規就業者が少なく、平成 28 年度当初の組合員の平均年齢は、55 才と高齢化も進んでいる。

与那国島周辺の海域は、イノー（礁池）が未発達で急激に深くなること、また、地形が単純で外洋に面していることから、漁業はパヤオを中心とした曳縄と一本釣りに限定されている。漁獲物はカジキ類、サワラ、マグロ類、マチ類、ムツが主体である。組合員一人当たりの平均漁獲量は、平成 19 年度の 3,524kg/年から平成 27 年度の 4,945kg/年、平均漁獲高は、平成 19 年度の 2,153 千円/年から平成 27 年度の 3,269 千円/年である。近年は、平均漁獲量及び平均漁獲高共に増加傾向にあり、それらはこの間に敷設されたパヤオの効果である。ただし、近年の漁獲量及び漁獲高の増加傾向は、停滞ぎみとなっており、両者のレベルは低いままである。この現状を克服し、後継者や新規就業者の加入による組合員の増加に結び付く対策の実施が喫緊の課題である。

必要な対策は、曳縄と一本釣り漁業の漁獲量と漁獲高のさらなる増加につながる漁船及び装備品の強化、安定した漁業経営につながる遊漁船業や新規漁業種の開業・操業による多角経営の推進である。また、与那国島は、沖縄本島から約 650km と遠く離れている離島で、かつ風速 70m/sec を超える猛烈な台風が来襲する地域でもある。この地域特有の困難性を克服するためには、流通・販売コストの効率化と軽減策及び台風襲来時でも漁獲物の鮮度劣化を防止できる鮮魚保持施設の整備が必要である。

(2) その他の関連する現状等

与那国漁協地区においては、上記の現状を踏まえ、下記を取組を行っている。

1. 組合員への漁業装備品導入の支援：与那国町と組合は、曳縄と一本釣り漁業の漁獲量と漁獲高の増加及び効率化を図るため、与那国町漁業担い手育成プラン事業を平成 26 年から開始し、平成 27 年までに 13 人の組合員の漁船及び装備品等を更新した。更新した組合員の漁獲量と漁獲高は増加し、燃料等の経費は削減している。今後は、多くの組合員への適用が課題である。
2. パヤオの敷設：組合は、漁業の効率化及びカジキ類等の漁獲量と漁獲高の安定化を目的として、平成 15 年から平成 27 年の間に 9 基を敷設し、漁獲量と漁獲高増の成果を得ている。ただし、厳しい海象条件のためパヤオの流出も多い。今後は、流出パヤオの代替えや新設が課題である。
3. カジキ釣大会：与那国町と組合は、平成 2 年から与那国のカジキを主対象にした日本最西端与那国島国際カジキ釣り大会を毎年 1 回実施している。大会開催時は、トローリング部門の参加者が 100 人近くと大勢の遊漁船利用者があるものの、他の期間の利用者は 300 人レベルに留まっており、年間を通じた集客が課題となっている。
4. 担い手育成：組合は、平成 17 年から新規漁業就業者総合支援事業を導入して、延べ 17 人の研修生を受入れ、5 人が正組合員になった。今後も本事業及び与那国町漁業担い手育成プラン事業を通じた支援を継続して新たな組合員を増やし、高齢化対策を進める必要がある。
5. 流通費の補助：与那国町と組合は、販売に関する与那国の地理的不利の軽減を目的として、平成 22 年度からカジキ類及びマグロ類の流通・出荷費用のうち、沖縄本島までの費用の補助を開始した。カジキ類及びマグロ類は、熊本等への出荷も可能になって流通・販路が拡大している。今後は、他の漁獲物や加工品も含めて、新たな流通・販売先の確保につながる PR 方法等を推進する必要がある。
6. 加工場整備：組合は、加工品による収入増を目的として、平成 18 年及び平成 19 年で改修・整備した。しかし、人気商品の開発・販売には至っておらず、加工事業は伸び悩んでいる。今後は、人気商品の開発と共に効果的な PR・販売方法を検討・実施する必要がある。

3 活性化の取組方針

(1) 基本方針

1 漁業収入向上のための取組

(1) 漁船・装備更新の推進とパヤオ敷設

漁船購入や機関・装備の更新とパヤオの敷設を推進し、より一層の漁獲量と漁獲高の増加を図る。

(2) 遊漁船業の推進

漁業者の遊漁船業の開業を推進すると共に、遊漁の効果的な PR 方法の検討と積極的な展開で集客し、漁業経営の安定化を図る。

(3) 担い手育成

新規就業者の募集と後継者の育成及び就業者支援を継続し、組合員増と高齢化対策を推進する。

(4) 各種部会の設立

新規漁業種類、流通・販売、遊漁等の部会を設置して勉強会・講習会等を開催し、漁業収入の向上及び経営安定化につながる活動を実施する。

(5) 水産物の鮮度保持の向上

現状の鮮度保持施設では、与那国特有の台風時における停電による鮮度保持問題及び近年と今後の漁獲量増に対応できず、氷の供給不足、水揚げされた鮮魚の保存に大きな障害となっている。早急に鮮度保持施設（製氷機、冷凍機、冷凍庫、保冷箱）及びそれら施設を台風による停電時でも稼働できる発電機を整備して、これら障害を解消し、健全な漁業活動が実施できる設備体制を整え、魚価を安定・向上させ、漁業収入を増やす。

2 漁業コスト削減のための取組

(1) 省エネ型エンジン等の導入による経営コスト削減

「与那国町漁業担い手育成プラン実施事業」を活用し、省エネ型エンジン等の導入を推進し、燃料コストの削減を図る。

(2) 漁船の減速航行及び船底清掃による燃油削減

漁船の減速航行や船底清掃による負荷の低減で、燃油消費を抑制し、燃油コストの削減を図る。

(2) 漁獲努力量の削減・維持及びその効果に関する担保措置

組合は、共同第 27 号漁業権行使規則で特定魚種の体長、漁期等に係る制限を定め遵守するほか、沖縄県漁業調整規則で定められた一本釣漁業で使用する電気設備等の制限を順守するよう、組合員に指導している。また、パヤオの敷設・利用及び、マチ類の保護培養を目的とする保護区の設定に関する沖縄海区漁業調整委員会指示の順守を指導している。

※ プランの取組に関連する漁業調整規則や漁業調整委員会指示等について記載すること。

(3) 具体的な取組内容（毎年ごとに数値目標とともに記載）

1年目（平成29年度）●下記の取組により、漁業所得を基準年比3%向上させる。

<p>漁業収入向上のための取組</p>	<p>(1) 漁船・装備更新の推進とパヤオ敷設</p> <p>①漁業者及び組合は、「与那国町漁業担い手育成プラン実施事業」を活用して高性能の漁船、機関及び装備品の更新を積極的に推進し、操業日数と漁獲効率を向上させて漁獲量と漁獲高を増やす。</p> <p>②組合は、漁獲効率及び漁獲量と漁獲高の向上につながるパヤオの敷設位置等を検討する。</p> <p>(2) 遊漁船業の推進</p> <p>組合は、漁業者の遊漁船業の開業を推進する。また、与那国町役場及び商工会等と遊漁の効果的なPR方法について協議し、連携した積極的なPRで集客増を図る。</p> <p>(3) 担い手育成</p> <p>組合は、「新規漁業就業総合支援事業」及び「与那国町漁業担い手プラン実施事業」を活用し、新規就業者の募集と後継者の育成及び就業者支援を継続し、組合員増と高齢化対策を推進する。</p> <p>(4) 各種部会の設立</p> <p>漁業者及び組合は、新規漁業種類、流通・販売、遊漁等の部会を設置し、勉強会・講習会等を開始する。</p> <p>(5) 水産物の鮮度保持の向上</p> <p>組合は、与那国特有の台風時における鮮度保持問題を解決し、また、今後の漁獲量増に対応可能な鮮度保持施設（製氷機、冷凍機、冷凍庫、保冷箱、滅菌水製造機）の検討（基本計画、基本設計、実施設計）を行う。</p>
<p>漁業コスト削減のための取組</p>	<p>(1) 省エネ型エンジン等の導入による経営コスト削減</p> <p>組合は、漁業者の「与那国町漁業担い手育成プラン実施事業」を活用した省エネ型エンジン等の導入を奨励し、燃油コストの削減を推進する。</p> <p>(2) 漁船の減速航行及び船底清掃による燃油削減</p> <p>漁業者は、漁船の燃油消費量を削減するため、減速航行や船底清掃を徹底し、燃油コストの削減を図る。</p>
<p>活用する支援措置等</p>	<p>【収入向上】</p> <p>(1)①与那国町漁業担い手プラン実施事業（町）</p> <p>(3) 新規漁業就業者総合支援事業（国）</p> <p>(4) 漁村女性地域実践活動促進事業（国）</p> <p>【コスト削減】</p> <p>(1) 与那国町漁業担い手プラン実施事業（町）</p>

2年目（平成30年度）●下記の取組により、漁業所得を基準年比4%向上させる。

<p>漁業収入向上のための取組</p>	<p>(1) 漁船・装備更新の推進とパヤオ敷設</p> <p>①漁業者及び組合は、引き続き「与那国町漁業担い手育成プラン実施事業」を活</p>
---------------------	---

	<p>用して高性能の漁船、機関及び装備品の更新を積極的に推進し、操業日数と漁獲効率を一層向上させて漁獲量と漁獲高を増やす。</p> <p>②漁業者及び組合は、平成 29 年度に検討したパヤオを敷設する。</p> <p>(2) 遊漁船業の推進</p> <p>組合は、漁業者の遊漁船業の開業を引き続き推進する。また、与那国町役場及び商工会等と連携した遊漁の効果的な PR も継続し、積極的な PR で集客増を図る。</p> <p>(3) 担い手育成</p> <p>組合は、「新規漁業就業総合支援事業」及び「与那国町漁業担い手プラン実施事業」を活用し、新規就業者の募集と後継者の育成及び就業者支援を継続し、組合員増と高齢化対策を推進する。</p> <p>(4) 各種部会の設立</p> <p>漁業者及び部会は、平成 29 年度に設立した各部会の勉強会・講習会等で、下記の取組内容を検討して実施すると共に、組合及び与那国町に対して、必要な制度及び支援の実行を働きかける。</p> <p>①新規漁業種類部会は、沿岸漁業、サメ漁、ソデイカ漁、集魚灯を用いるマグロ漁等の漁法と経済性を検討し、実施する。</p> <p>②流通・販売部会は、漁獲物及び加工品の PR 方法と新規店舗での販売等を検討し、実施する。</p> <p>③遊漁部会は、現在、年 1 回実施している国際カジキ釣大会を含め、PR 方法と効率かつ適正な管理・運営法方法等を検討し、実施する。</p> <p>(5) 水産物の鮮度保持の向上</p> <p>組合は、平成 29 年度に検討した計画・設計に基づき、鮮度保持施設（製氷機、冷凍機、冷凍庫、保冷箱、滅菌水製造機）を整備する。</p>
<p>漁業コスト削減のための取組</p>	<p>(1) 省エネ型エンジン等の導入による経営コスト削減</p> <p>組合は、漁業者の「与那国町漁業担い手育成プラン実施事業」を活用した省エネ型エンジン等の導入を引き続き奨励し、燃油コストの削減を推進する。</p> <p>(2) 漁船の減速航行及び船底清掃による燃油削減</p> <p>漁業者は、漁船の燃油消費量を削減するため、引き続き減速航行や船底清掃を徹底し、燃油コストの削減を図る。</p>
<p>活用する支援措置等</p>	<p>【収入向上】</p> <p>(1)①与那国町漁業担い手プラン実施事業（町）</p> <p>(1)②離島漁業再生支援交付金（国）</p> <p>(3) 新規漁業就業者総合支援事業（国）</p> <p>(4) 漁村女性地域実践活動促進事業（国）</p> <p>(5) 浜の活力再生交付金（国）</p> <p>【コスト削減】</p> <p>(1) 与那国町漁業担い手プラン実施事業（町）</p>

3年目（平成31年度）●下記の取組により、漁業所得を基準年比9%向上させる。

<p>漁業収入向上のための取組</p>	<p>(1) 漁船・装備更新の推進とパヤオ敷設</p> <p>①漁業者及び組合は、引き続き「与那国町漁業担い手育成プラン実施事業」を活用して高性能の漁船、機関及び装備品の更新を積極的に推進し、操業日数と漁獲効率を一層向上させて漁獲量と漁獲高を増やす。</p> <p>②漁業者及び組合は、平成29年度に検討したパヤオの敷設を継続する。</p> <p>(2) 遊漁船業の推進</p> <p>組合は、漁業者の遊漁船業の開業を引き続き推進する。遊漁のPR方法に関しては、与那国町役場及び商工会と共に集客効果を検証して見直しを行い、より効果的な方法でさらなる集客増を図る。</p> <p>(3) 担い手育成</p> <p>組合は、「新規漁業就業総合支援事業」及び「与那国町漁業担い手プラン実施事業」を活用し、新規就業者の募集と後継者の育成及び就業者支援を継続し、組合員増と高齢化対策を推進する。また、組合は、住宅が不足している現状を受けて、新規就業者が生活する住宅の確保を与那国町と共に確保する。</p> <p>(4) 各種部会の設立</p> <p>漁業者、部会及び組合は、平成30年度に部会が検討し、開始した取組の実行を継続する。また、各部会は、取組内容の見直しを行って、必要に応じて適正に修正して実施すると共に、組合及び与那国町に対して、必要な制度及び支援の実行を働きかける。</p> <p>(5) 水産物の鮮度保持の向上</p> <p>漁業者及び組合は、平成30年度に整備した鮮度保持施設（製氷機、冷凍機、冷凍庫、保冷箱、滅菌水製造機）を積極的に活用し、魚価を安定・向上させる。</p>
<p>漁業コスト削減のための取組</p>	<p>(1) 省エネ型エンジン等の導入による経営コスト削減</p> <p>組合は、漁業者の「与那国町漁業担い手育成プラン実施事業」を活用した省エネ型エンジン等の導入を引き続き奨励し、燃油コストの削減を推進する。</p> <p>(2) 漁船の減速航行及び船底清掃による燃油削減</p> <p>漁業者は、漁船の燃油消費量を削減するため、引き続き減速航行や船底清掃を徹底し、燃油コストの削減を図る。</p>
<p>活用する支援措置等</p>	<p>【収入向上】</p> <p>(1)①与那国町漁業担い手プラン実施事業（町）</p> <p>(1)②離島漁業再生支援交付金（国）</p> <p>(3)新規漁業就業者総合支援事業（国）</p> <p>(4)漁村女性地域実践活動促進事業（国）</p> <p>【コスト削減】</p> <p>(1)与那国町漁業担い手プラン実施事業（町）</p>

4 年目（平成 32 年度）●下記の取組により、漁業所得を基準年比 12%向上させる。

<p>漁業収入向上のための取組</p>	<p>(1) 漁船・装備更新の推進とパヤオ敷設</p> <p>①漁業者及び組合は、引き続き「与那国町漁業担い手育成プラン実施事業」を活用して高性能の漁船、機関及び装備品の更新を積極的に推進し、操業日数と漁獲効率を一層向上させて、更に漁獲量と漁獲高を増やす。</p> <p>②漁業者及び組合は、平成 29 年度に検討したパヤオの改良を検討すると共に、その結果を反映したパヤオの敷設を開始する。</p> <p>(2) 遊漁船業の推進</p> <p>組合は、漁業者の遊漁船業の開業を引き続き推進する。遊漁の PR 方法に関しては、前年度に引き続き与那国町役場及び商工会等と共に集客効果を検証して見直しを行い、より効果的な方法でさらなる集客増を図る。</p> <p>(3) 担い手育成</p> <p>組合は、「新規漁業就業総合支援事業」及び「与那国町漁業担い手プラン実施事業」を活用し、新規就業者の募集と後継者の育成及び就業者支援を継続し、組合員増と高齢化対策を推進する。また、組合は、新規就業者の住宅の確保を引き続き与那国町と共に推進する。</p> <p>(4) 各種部会の設立</p> <p>漁業者、部会及び組合は、平成 31 年度に各部会が見直した取組内容を継続する。また、各部会は、平成 31 年度に引き続き取組内容の見直しを行って、必要に応じて適正に修正して実施すると共に、組合及び与那国町に対して、必要な制度及び支援の実行を働きかける。</p> <p>(5) 水産物の鮮度保持の向上</p> <p>漁業者及び組合は、平成 30 年度に整備した鮮度保持施設（製氷機、冷凍機、冷凍庫、保冷箱、滅菌水製造機）を引き続き積極的に活用し、魚価を安定・向上させる。また、組合は、平成 30 年度に整備した鮮度保持施設の効果について検証し、効果向上につながる追加施設の必要性和内容等について検討（基本計画、基本設計、実施設計の見直し）する。</p>
<p>漁業コスト削減のための取組</p>	<p>(1) 省エネ型エンジン等の導入による経営コスト削減</p> <p>組合は、漁業者の「与那国町漁業担い手育成プラン実施事業」を活用した省エネ型エンジン等の導入を引き続き奨励し、燃油コストの削減を推進する。</p> <p>(2) 漁船の減速航行及び船底清掃による燃油削減</p> <p>漁業者は、漁船の燃油消費量を削減するため、引き続き減速航行や船底清掃を徹底し、燃油コストの削減を図る。</p>
<p>活用する支援措置等</p>	<p>【収入向上】</p> <p>(1)①与那国町漁業担い手プラン実施事業（町）</p> <p>(1)②離島漁業再生支援交付金（国）</p> <p>(3) 新規漁業就業者総合支援事業（国）</p> <p>(4) 漁村女性地域実践活動促進事業（国）</p>

	<p>【コスト削減】</p> <p>(1)与那国町漁業担い手プラン実施事業（町）</p>
--	--

5 年目（平成 33 年度）●下記の取組により、漁業所得を基準年比 15%向上させる。

<p>漁業収入向上のための取組</p>	<p>(1) 漁船・装備更新の推進とパヤオ敷設</p> <p>①漁業者及び組合は、引き続き「与那国町漁業担い手育成プラン実施事業」を活用して高性能の漁船、機関及び装備品の導入を積極的に推進し、操業日数と漁獲効率を一層向上させて、更に漁獲量と漁獲高を増やす。</p> <p>②漁業者及び組合は、引き続き平成 29 年度に検討したパヤオの改良を検討すると共に、その結果を反映したパヤオの敷設を継続する。</p> <p>(2) 遊漁船業の推進</p> <p>組合は、漁業者の遊漁船業の開業を引き続き推進する。遊漁の PR 方法に関しては、前年度に引き続き与那国町役場及び商工会等と共に集客効果を検証して見直しを行い、より効果的な方法でさらなる集客増を図る。</p> <p>(3) 担い手育成</p> <p>組合は、「新規漁業就業総合支援事業」及び「与那国町漁業担い手プラン実施事業」を活用し、新規就業者の募集と後継者の育成及び就業者支援を継続し、組合員増と高齢化対策を推進する。また、組合は、新規就業者の住宅の確保を引き続き与那国町と共に推進する。</p> <p>(4) 各種部会の設立</p> <p>漁業者、部会及び組合は、平成 31 年度に各部会が見直した取組内容を継続する。また、各部会は、平成 31 年度に引き続き取組内容の見直しを行って、必要に応じて適正に修正して実施すると共に、組合及び与那国町に対して、必要な制度及び支援の実行を働きかける。</p> <p>(5) 水産物の鮮度保持の向上</p> <p>組合は、平成 32 年度に行った追加施設（基本計画、基本設計、実施設計の見直し）の検討結果、効果的な追加施設がある場合には、その施設を整備する。</p>
<p>漁業コスト削減のための取組</p>	<p>(1) 省エネ型エンジン等の導入による経営コスト削減</p> <p>組合は、漁業者の「与那国町漁業担い手育成プラン実施事業」を活用した省エネ型エンジン等の導入を引き続き奨励し、燃油コストの削減を推進する。</p> <p>(2) 漁船の減速航行及び船底清掃による燃油削減</p> <p>漁業者は、漁船の燃油消費量を削減するため、引き続き減速航行や船底清掃を徹底し、燃油コストの削減を図る。</p>
<p>活用する支援措置等</p>	<p>【収入向上】</p> <p>(1)①与那国町漁業担い手プラン実施事業（町）</p> <p>(1)②離島漁業再生支援交付金（国）</p> <p>(3)新規漁業就業者総合支援事業（国）</p> <p>(4)漁村女性地域実践活動促進事業（国）</p>

	(5)未定（国） 【コスト削減】 (1)与那国町漁業担い手プラン実施事業（町）
--	---

(4) 関連機関との連携

1. 与那国町役場	水産業活性化に関する支援策（浜の活力再生交付金・離島漁業再生支援交付金・新規漁業就業者総合支援事業等）を活用するにあたり、実施設計や一部経費の負担等における協力を依頼する。
2. 与那国町漁業担い手育成協議会	担い手育成の支援措置である「与那国町担い手育成プラン実施事業」の推進にあたり、関係機関との連絡調整を図り、組合員の増加と高齢化対策を推進する。
3. 与那国町漁業協同組合婦人部	販売、加工に関する部会の中心的役割を果たし、漁協、役場等と協働して取組を進める。
4. 久部良自治公民館	販売、加工及びイベントで、漁協、役場等と協働して取組を進める。
5. 与那国町商工会	販売、遊漁、及びイベント等で、漁協、役場等と協働して開催告知等に取り組む。

4 目標

(1) 数値目標

漁業所得の向上	%	基準年	平成	年度：漁業所得	千円
		目標年	平成	年度：漁業所得	千円

(2) 上記の算出方法及びその妥当性

--

※算出の根拠及びその方法等について詳細に記載し、必要があれば資料を添付すること。

5 関連施策

活用を予定している関連施策制度その内容及びプランとの関係性

事業名	事業内容及び浜の活力再生プランの関係性
(1) 与那国町漁業担い手プラン実施事業（町）	漁船及び装備品の整備や更新を推進し、操業日数の増加と漁獲効率の向上及び燃料コストの削減を図る。 新規就業者募集活動等で活用し、組合員増や高齢化対策を推進する。
(2) 離島漁業再生支援交付金（国）	パヤオを敷設し、漁獲量と漁獲高の向上を図る。
(3) 新規漁業就業者総合支援事業（国）	担い手（後継者）を育成・確保し、漁業の活性化を図る。
(4) 漁村女性地域実践活動促進事業（国）	加工品開発・販売、イベント等の検討・開催、勉強会・講習会の開催
(5) 浜の活力再生交付金（国）	台風襲来時の停電による氷不足や鮮度劣化等を解決するため、鮮度保持施設を整備する。

※関連事業には、活用を予定している国（水産庁以外を含む）、地方公共団体等の補助金・基金等を記載。

ただし、本欄への記載をもって、事業の活用を確約するものではない。

※具体的な事業名が記載できない場合は、「事業名」は「未定」とし、「事業内容及び浜の活力再生プランとの関係性」のみを記載する。